

# 1 埼玉工業大学の概要

## 1. 1 校章の由来

埼玉工業大学の校章の図柄は、徳川家の家紋「三つ葉葵」に「大学」の文字を組み合わせたものである。

三つ葉葵が校章の基盤となっている理由は、当智香寺学園名にある智香寺が徳川家康公のご生母「於大の方」に縁りの寺院（茶毘の地）であり、その法名が「伝通院殿荅誉光岳智香大禅定尼」であったためである。

なお、「三つ葉葵」の三つの葉には、それぞれに、本学の建学の精神である使命感、人生観、連帯感の三つの理想があらわされている。

## 1. 2 大学の沿革

明治36年 2月	東京商工学校として浅草森下町に創設
明治43年 4月	東京高等商工学校と改称
大正11年 4月	東京市神田駿河台3丁目2番地に移転
昭和13年 4月	商業科を廃止、3ヵ年制の高等工学科を設置し聖橋高等工学校と改称
昭和19年 3月	財団法人聖橋学園設立
昭和22年 4月	新学制により聖橋中学校となる
昭和23年 4月	新学制により聖橋高等学校開設（普通科・機械科）
昭和26年 3月	学校法人聖橋学園に組織変更
昭和26年 9月	東京都荒川区尾久町5丁目871番地の新校舎に移転
昭和32年 4月	定時制に商業科併設
昭和36年 4月	埼玉県大里郡岡部町大字普濟寺1690番地に聖橋学園埼玉工業高等学校（機械科）を開設
昭和37年 2月	聖橋工業高等専門学校設置認可
昭和37年 3月	聖橋学園埼玉工業高等学校閉校
昭和37年 4月	埼玉県大里郡岡部町普濟寺1690番地に聖橋工業高等専門学校開設
昭和46年 3月	聖橋中学校・聖橋高等学校（全日制・定時制）を閉校
昭和48年12月	学校法人聖橋学園を学校法人智香寺学園に改称
昭和50年 3月	聖橋工業高等専門学校の学生募集停止を文部省に届出
昭和51年 1月	埼玉工業大学、文部省から設置認可
昭和51年 4月	埼玉工業大学に工学部を開設 初代学長に工学博士永井芳男就任 （入学定員 機械工学科60名 環境工学科40名 電子工学科40名）
昭和53年 4月	埼玉工業大学工学部教職課程の設置（免許教科「高一種工業」）
昭和54年 3月	聖橋工業高等専門学校、文部省から廃止認可、閉校
昭和56年 4月	埼玉工業大学工学部の学生定員を変更 （入学定員 機械工学科80名 環境工学科80名 電子工学科80名）
昭和58年 4月	埼玉工業大学学長に工学博士武藤義一就任
昭和60年 3月	埼玉工業大学専門学校、埼玉県から設置認可
昭和60年 4月	埼玉工業大学専門学校（情報処理科・ビジネス学科）開設
平成2年 4月	埼玉工業大学工学部限付き学生定員変更 （機械工学科 環境工学科 電子工学科 入学定員各100名）
平成3年 4月	埼玉工業大学学長に理学博士鈴木周一就任
平成4年 4月	埼玉工業大学科学技術研究所を設置
平成4年 4月	埼玉工業大学工学部限付き学生定員変更 （機械工学科 環境工学科 電子工学科 入学定員各160名）
平成7年 7月	埼玉工業大学学長に理学博士竹内正幸就任
平成9年12月	文部省から埼玉工業大学大学院設置認可
平成10年 4月	埼玉工業大学大学院工学研究科修士課程開設 （入学定員 システム工学専攻10名 物質科学工学専攻10名）
平成11年 4月	埼玉工業大学科学技術研究所を埼玉工業大学先端科学研究所に改組
平成11年 4月	先端科学研究所にハイテク・リサーチ・センターを設置
平成11年10月	埼玉工業大学学長に工学博士秋山 守 就任
平成11年11月	韓国全北大学校工科大学と学術・学生交流に関する協定を締結
平成12年 4月	埼玉工業大学大学院工学研究科博士後期課程開設 （入学定員 システム工学専攻2名 物質科学工学専攻2名）
平成12年 4月	埼玉工業大学大学院工学研究科の修士課程を博士前期課程に変更 （入学定員 システム工学専攻10名 物質科学工学専攻10名）

- 平成12年 4月 埼玉工業大学工学部学生定員変更  
(入学定員 機械工学科120名 環境工学科120名 電子工学科120名)
- 平成12年 4月 埼玉工業大学工学部期限付き学生定員変更  
(機械工学科 応用化学科 電子工学科 入学定員各152名)
- 平成12年 6月 中国鞍山科技大学と学術・学生交流に関する協定を締結
- 平成12年12月 学校法人智香寺学園と学校法人祥苑学園が合併  
(埼玉工業大学深谷高等学校を設置する学校に加えた)
- 平成13年 3月 埼玉工業大学専門学校閉校
- 平成13年 7月 埼玉工業大学専門学校文部科学省より廃止認可
- 平成13年 4月 埼玉工業大学工学部期限付き学生定員変更  
(機械工学科 応用化学科 電子工学科 入学定員各144名)
- 平成13年 4月 工学部応用化学科の教職免許教科を変更(免許教科「高一種理科」)
- 平成13年 8月 文科省から埼玉工業大学工学部情報工学科の設置認可
- 平成13年12月 文科省から埼玉工業大学人間社会学部設置認可
- 平成14年 4月 埼玉工業大学工学部情報工学科を開設(入学定員 80名)
- 平成14年 4月 埼玉工業大学人間社会学部を開設  
(情報社会学科 入学定員120名 編入学定員 (2年次) 5名 (3年次) 20名)  
(心理学科 入学定員 80名 編入学定員 (2年次) 5名 (3年次) 10名)
- 平成14年 4月 埼玉工業大学工学部学生定員変更  
(機械工学科80名 環境工学科80名 電子工学科80名)
- 平成14年 4月 埼玉工業大学工学部期限付学生定員変更  
(機械工学科 応用化学科 電子工学科 入学定員各 96名)
- 平成15年 4月 埼玉工業大学学長に工学博士永野三郎就任
- 平成15年 4月 埼玉工業大学工学部情報工学科に教職課程認定  
(免許教科「高一種数学」「高一種情報」)
- 平成15年 4月 埼玉工業大学人間社会学部情報社会学科に教職課程認定  
(免許教科「高一種公民」「高一種情報」)
- 平成15年 4月 埼玉工業大学人間社会学部心理学科に教職課程認定  
(免許教科「高一種公民」)
- 平成15年 4月 埼玉工業大学工学部期限付学生定員変更  
(機械工学科 応用化学科 電子工学科 入学定員各88名)
- 平成15年 4月 埼玉工業大学深谷高等学校を正智深谷高等学校に改称
- 平成16年 4月 ポーランド日本情報工科大学と学術・学生交流に関する協定を締結
- 平成16年 5月 アルマティ工業大学と学術・学生交流に関する協定を締結
- 平成16年 5月 埼玉工業大学臨床心理センターを設置
- 平成17年12月 文科省から埼玉工業大学大学院人間社会研究科設置認可
- 平成18年 4月 埼玉工業大学大学院人間社会研究科修士課程を開設  
(入学定員 情報社会専攻10名 心理学専攻15名)
- 平成19年 4月 埼玉工業大学大学院工学研究科博士前期課程を改組  
(入学定員 システム工学専攻 6名 電子工学専攻 7名 応用化学専攻 7名)
- 埼玉工業大学工学部を改組  
(入学定員 機械工学科 60名 生命環境化学科 80名 情報システム学科 120名  
ヒューマン・ロボット学科 60名)
- 平成20年 4月 埼玉工業大学人間社会学部学生定員変更  
(入学定員 情報社会学科120名 心理学科80名)
- 平成21年 4月 埼玉工業大学学生定員変更  
(入学定員 工学部 情報システム学科 110名)  
(入学定員 人間社会学部 情報社会学科 110名)
- 平成22年 4月 埼玉工業大学大学院工学研究科博士後期課程を改組  
(入学定員 システム工学専攻 2名 電子工学専攻 2名 応用化学専攻 2名)
- 平成23年 4月 埼玉工業大学学長に工学博士内山俊一就任
- 平成23年 4月 埼玉工業大学埼玉工業大学工学部を改組  
(入学定員 機械工学科 110名 生命環境化学科 80名 情報システム学科 120名)

[ ※ 工学部の改組について ]

工学部の学科編成は、平成19年4月から、機械工学科、応用化学科、電子工学科、情報工学科の4学科を機械工学科、生命環境化学科、情報システム学科、ヒューマン・ロボット学科の4学科に改めました。

従来の機械工学科、応用化学科、電子工学科、情報工学科は、平成19年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとします。

[ ※ 工学部の改組について ]

工学部の学科編成は、平成 23 年 4 月から、機械工学科、生命環境化学科、情報システム学科の 3 学科に改めました。ヒューマン・ロボット学科は、平成 23 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとします。

[ ※ 工学研究科の改組について ]

埼玉工業大学大学院博士後期課程物質科学工学専攻は、改正後の学則第 4 条の規程にかかわらず、平成 22 年 3 月 31 日に当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとします。

### 1. 3 大学の構成

埼玉工業大学 ( Saitama Institute of Technology )

#### 1) 大学院工学研究科 ( Graduate School of Engineering )

【博士前期課程】

システム工学専攻 ( Department of System Engineering )

電子工学専攻 ( Department of Electronic Engineering )

応用化学専攻 ( Department of Applied Chemistry )

【博士後期課程】

平成 22 ( 2010 ) 年度以降の入学者に適用する専攻

システム工学専攻 ( Department of System Engineering )

電子工学専攻 ( Department of Electronic Engineering )

応用化学専攻 ( Department of Applied Chemistry )

平成 21 ( 2009 ) 年度以前の入学者に適用する専攻

システム工学専攻 ( Department of System Engineering )

物質科学工学専攻 ( Department of Materials Science and Engineering )

#### 2) 大学院人間社会研究科 ( Graduate School of Human and Social Studies )

【修士課程】

情報社会専攻 ( Department of Informational Society Studies )

心理学専攻 ( Department of Psychology )

#### 3) 工学部 ( Faculty of Engineering )

平成 23 ( 2011 ) 年度以降の入学者に適用する学科

機械工学科 ( Department of Mechanical Engineering )

生命環境化学科 ( Department of Life Science and Green Chemistry )

情報システム学科 ( Department of Information Systems )

平成 19 ( 2007 ) 年度以降の入学者に適用する学科

機械工学科 ( Department of Mechanical Engineering )

生命環境化学科 ( Department of Life Science and Green Chemistry )

情報システム学科 ( Department of Information Systems )

ヒューマン・ロボット学科 ( Department of Human-Robotics )

平成 18 ( 2006 ) 年度以前の入学者に適用する学科

機械工学科 ( Department of Mechanical Engineering )

応用化学科 ( Department of Applied Chemistry )

電子工学科 ( Department of Electronic Engineering )

情報工学科 ( Department of Computer Science )

#### 4) 人間社会学部 ( Faculty of Human and Social Studies )

情報社会学科 ( Department of Informational Society Studies )

心理学科 ( Department of Psychology )

5) 基礎教育センター ( Foundation Study Center )

教職課程 ( Course for Teaching Profession )

6) 先端科学研究所 ( Advanced Science Research Laboratory )

ハイテク・リサーチ・センター ( High Technology Research Center )

臨床心理センター ( Training and Research Center of Clinical Psychology )

7) 図書館 ( Library )

8) 情報基盤センター ( Information Technology Center )

9) 事務局 ( Administration Office )

総務部 ( 総務課 管財課 会計課 )

教学部 ( 学生課 教務課 就職課 )

教育研究協力部 ( 教育研究協力課 情報技術課 学術情報課 )

## 1. 4 事務局の主な取扱事項

事務局窓口の取扱時間

月曜日～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～13:00 ( ※ 第2及び第4土曜日は休業日です )

事務局の主な取扱事項

### ① 総務部

総務課 (26号館8F)

・学則・諸規程に関すること

管財課 (26号館8F)

・施設・設備の管理

・構内の整備・清掃

・スクール・バスの運行

会計課 (26号館8F)

・学費振込票の交付

・学費の収納・督促

・学生会・後援会等諸会費の受託収納

・証明書等手数料収納

### ② 教学部

学生課 (26号館1F)

・学生の相談と健康管理に関すること

・各種奨学金と就学貸付等に関すること

・学費の延納申請等に関すること

・学生の車両通学に関すること

・学生食堂及び学内売店に関すること

・入学式・卒業式等の行事に関すること

・遺失物・拾得物に関すること

・学生傷害保険に関する事務取扱

・厚生施設・運動施設の利用事務取扱

・国家試験及び資格のアドバイスと情報提供

・アルバイト及び下宿・アパート等の情報提供

・学生証・学生割引証・在学証明・通学証明・卒業証明・卒業見込証明・健康診断書の発行

・後援会に関すること

教務課 (26号館1F)

・授業日程・時間割・試験に関すること

・履修登録に関すること

・成績及び進級・卒業に関すること

・教職課程及び教員免許状に関すること

・科目等履修生・研究生に関すること

・休学・退学・除籍等の学籍に関すること

- ・成績証明書の発行  
就職課 (26 号館 1 F)
- ・就職指導及び相談

- ・就職の紹介・斡旋

③ 教育研究協力部

教育研究協力課 (29 号館 1 F)

- ・先端科学研究所に関すること

情報技術課 (23 号館 1 F)

- ・情報基盤センターに関すること
- ・パソコン実習室 (23 号館) の管理に関すること
- ・メールアドレス及びユーザーアカウントの管理に関すること

学術情報課 (21 号館 2 F)

- ・図書館に関すること

## 1. 5 学生の書類提出先

① 次の書類は、学生課へ提出して下さい。(※ 届出及び願出書類には印鑑が必要です)

届出及び願出書類	提出期限及び添付書類等	備考
誓約書	入学時	
身上申告書	入学時	様式1
欠席届	当該日の前後1週間以内	様式2
住所変更届(学生・保証人)	速やかに	様式3
保証人変更届	速やかに	様式4
改姓届(学生・保証人)	速やかに, 改姓を証明できる書類を添付	様式5
本籍変更届(学生・保証人)	速やかに	様式5
合宿届	1週間前までに提出, 名簿・計画表を添付	様式6
大会・行事等参加届	1週間前までに提出, 名簿を添付	様式7
施設・設備使用許可願	3日前までに提出(平日, 時間外, 休日)	様式8
学内物品使用許可願	1週間前までに提出	様式9
学外研修届	1週間前までに提出, 名簿・計画表を添付	様式10
学生団体結成願	1週間前までに提出, 規約:名簿:年度活動表を添付	様式11
学生団体解散届	解散後1週間以内に提出, 理由書を添付	様式12
学内集会届	3日前までに提出	様式13
学生団体規約変更届	1週間前までに提出, 新旧団体規約を添付	様式14
学外団体加盟許可願	1週間前までに提出, 加盟団体規約を添付	様式15
掲示許可願	前日までに提出, 掲示物を添付	様式16
出版・印刷物配布許可願	前日までに提出, 掲示物を添付	様式17
車両通学許可願	速やかに, 保険契約書(写)を添付	様式18
学生納付金延納願	学費納入期限前	様式19
紛失・盗難・捨得物届	速やかに	様式20
合宿所施設使用許可願	3日前までに提出	様式21
事故報告書	1週間以内	様式22
学外練習届	3日前までに提出	様式23

② 次の書類は、教務課へ提出して下さい。(※ 届出及び願出書類には印鑑が必要です)

届出及び願出書類	提出期限及び添付書類等	備考
履修登録訂正願	履修の登録期限を過ぎた場合の訂正に使用する	
成績質問カード	指定された成績発表日に提出する	
欠席届	1週間以上欠席, 診断書及び理由書を添付	
休学願	2か月以上欠席, 診断書及び理由書を添付	
復学願		
退学願	学生証の返却	
転学部又は転学科願		
他大学受験願		
再試験受験願	受験許可者のみ, 再試験料1科目3,000円	
追試験受験願	診断書又は事故の証明書等を添付	
他学科他学部科目履修許可願		

## 1. 6 証明書類の申込先

学生の各種証明書類は, 学生課又は教務課へ申し込んで下さい。

証明書類	手数料	申込先	発行日	
学生証 (再発行の場合)	500円	学生課	翌日発行	
在学証明書	300円	自動発行機	即日発行	
卒業見込証明書	300円	自動発行機	即日発行	
成績証明書 (日本語版)	500円	自動発行機	即日発行	
成績証明書 (英語版)	1,000円	学生課	1週間後	
学位記取得証明書 (日本語版)	300円	学生課	翌日発行	
学位記取得証明書 (英語版)	500円	学生課	1週間後	
J A B E E 修了証明書	300円	学生課	翌日発行	
在籍証明書	300円	学生課	翌日発行	
健康診断書	300円	自動発行機	即日発行	
保険加入証明書	300円	学生課	翌日発行	
研究生在学証明書	300円	学生課	翌日発行	
学生旅客運賃割引証 (学割)	無料	自動発行機	即日発行	
通学証明書	無料	学生課	即日発行	
仮学生証	無料	学生課	即日発行	
車両通学許可証	無料	学生課	即日発行	
大学院進学等証明書 (調査書)	500円	教務課	5日後	
大学院進学等証明書 (推薦書)	500円	教務課	5日後	
履修状況表 (配布期間後に申込む場合)	100円	教務課	翌日発行	
教員免許状関係の証明書	無料	教務課	翌日発行	
4年生の進学又は 就職活動に関する	卒業見込証明書	100円	自動発行機	即日発行
	成績証明書	100円	自動発行機	即日発行

証明書	健康診断書	100円	自動発行機	即日発行
-----	-------	------	-------	------

※ 26号館1Fに設置されている証明書自動発行機を利用する場合は、学生証が必要です。

## 2. 学 籍

入学して本学の学生としての身分を取得し、卒業でその身分を終了することになります。

学籍は、本学の在学者としての身分をもっていることを意味しています。

学籍を取得するための要件としては、①入試合格、②入学手続の完了、③入学式への出席等があります。

入学手続は、定められた期間内に、①学費の納入、②誓約書、身上申告書、高等学校の卒業証明書・成績証明書等必要書類の提出を行うことです。

### 2. 1 学生証

学生証は、本学の学籍取得を証明する証書（身分証明書）であり、学籍番号、所属する学部・学科、氏名、生年月日、発行日が記載され、学生の写真を貼付しています。

学生は、毎年度始めに在籍確認を行います。

学生証を紛失、汚損の場合は学生課にて再交付を受け、常に携帯して下さい。

退学等により学籍を失ったとき、また、卒業により有効期限を経過したときは、ただちに学生課に返還して下さい。

### 2. 2 学籍番号

学籍番号は、本学の学生として身分を取得したものにつけられた学籍照合の番号であり、学生証に7桁の数字で記載されます。

修学上の手続き及び証明書類の申込みの際は必ず記入する必要があります。

学籍番号のしくみはつぎの通りです。

#### 【平成19（2007）年度以降の入学者に適用する学籍番号】

<u>11</u> <u>0</u> <u>1</u> <u>001</u> ①   ②   ③   ④	① 入学年度（西暦下2桁2011年度入学） ② 学部コード（0＝工学部） ③ 所属学科コード 1＝機械工学科 2＝生命環境化学科 3＝情報システム学科 4＝ヒューマン・ロボット学科 ④ 所属学科内の個人番号
---	--

#### 【平成18（2006）年度以前の入学者に適用する学籍番号】

	① 入学年度（西暦下2桁 2006年度入学）
	② 学部コード（0=工学部）
	③ 所属学科コード
06	1 =機械工学科
0	2 =応用化学科
1	3 =電子工学科
001	4 =情報工学科
①	④ 所属学科内の個人番号
②	
③	
④	

## 2. 3 学籍の異動

入学、退学、転学、休学、除籍、卒業など、在学関係に変更が生ずることを学籍の異動といいます。学籍異動に関する相談及び手続きは、教務課で受け付けます。

### 【入 学】

入学の種類には、通常の1年次への入学の他、再入学、転入学、編入学などがあります。

入学時期は、毎年4月を原則としています。

#### ①再入学

本学を中途退学した者が、願い出により、再び同じ学部・学科の相当学年に入学することをいいます。

#### ②転入学

他の大学から本学に入学を志願し、入学許可に伴って現に在学中の大学を退学することにより入学することをいいます。

#### ③編入学

大学を卒業又は中途退学した者及び短期大学又は高等専門学校を卒業した者等が、工学部教育課程の2学年又は3学年に入学することをいいます。

### 【転 学】

本学在学中の学生が、大学の許可を得て他の大学へ入学することをいいます。

### 【転学部】

工学部から人間社会学部又は人間社会学部から工学部へ専攻する学部を変更することをいいます。

### 【転学科】

本学の学部内で専攻する学科を変更することをいいます。

### 【休 学】

病気その他やむを得ない理由で引続き2か月以上就学しないことをいいます。

休学できる期間は、許可を受けた学年を基準として1年以下ですが、特別の事情があると認められた場合は、再休学を許可することがあります。

休学中の学生は在籍しているが就学していない状態なので、休学期間は卒業に必要な在学年数（4年）には算入されません。

休学者については休学期間等に応じて学費を一部免除することがあります。

### 【復 学】

休学期間の満了又は休学の解除・中断によって再び就学することをいいます。

復学の手続きは、9月上旬又は3月上旬までに教務課へ申し出て下さい。

復学する学年は、休学した時点の学年となります。

### 【退 学】

退学には、願い出による退学と懲戒処分による退学があります。

病気その他本人の都合により退学を願い出るときは、退学願（学生証添付）を教務課に提出し、学長の許可を得て下さい。なお、退学者は、卒業前に大学を退くのですからすべて中途退学（中退）となります。

### 【除 籍】

除籍は、一定事由の発生により、自動的に学生の学籍を抹消する処置をいいます。



次のいずれかに該当する者は、在学契約上の義務不履行者として除籍となります。

- ①正当の事由なく、所定の納付金の納付を怠った者
- ②正当の事由なく、履修届を提出しない者
- ③規定の在学年数を越えた者
- ④死亡又は行方不明の届け出があった者

### 【卒業】

卒業は、本学の学生としての身分が終了することであり、工学部を卒業した学生には、学士（工学）の学位が授与されます。本学を卒業するためには、4年以上在学し、学則及び附属規程の定めに基づいて、所定の授業科目から124単位（但し、機械工学科平成23年度生は126単位）以上修得することが必要です。なお、本学に3年以上在学し、卒業単位を優秀な成績で修得したと教授会が認める場合には、早期卒業を認めることがあります。

### 【留年】

留年は、進級に必要な単位が不足しているの上級学年に進級できないこと、又は休学したことや単位不足などの理由により卒業できないで所定の修業年限を超えて在学することをいいます。

## 3 学 費

入学金以外の学費には、授業料と卒業研究費又は調査研究・卒業研究費があります。

その金額については、入学年度又は学年により違いがありますので、学費納入の通知書にて確認して下さい。

### 3. 1 学費の納入方法

学費は、本学指定の学費振込用紙により、郵便局を除く金融機関から振込んで下さい。

学費振込用紙は、毎年4月上旬に会計課から保証人（父母）宛に、①年額記載の振込用紙と、②分納前期額記載の振込用紙の2枚を郵送します。

新入生、編入生を含め2回払い（分納）の学生については、③分納後期額記載の振込用紙を8月下旬に郵送します。

保証人の住所・氏名等は、入学手続きの際提出した書類に基づき記載していますので、その後変更があった場合は、必ず変更届を学生課に提出して下さい。

なお、学費振込用紙が届かないとき、紛失してしまったときは、会計課又は学生課に連絡して下さい。

### 3. 2 学費の納入期限

学費の納入期限は、次の通りです。

納入方法	使用振込用紙	学 費	納入期限
年額一括納入	①	1年分	4月末日
年2回払い	②	分納前期分	4月末日
	③	分納後期分	9月末日

### 3. 3 学費の延納願い

特別な理由により、学費が期限内に納入できず延納を希望する場合は、その納入期限（4月末日、9月末日）前に、本学所定の「学生納付金延納願」を学生課に提出して下さい。

学生納付金延納願は、その理由を具体的に記載して本人及び保証人（父母）が連署して提出して下さい。

延納を許可される期間は、前期・後期とも正規の納入期限から起算して3か月以内です。

### 3. 4 学費未納者の除籍

学費が所定の手続きを経ないで未納の場合は、学則により、除籍処分となります。

### 4 学生への連絡及び通知

工学部学生への連絡及び通知は、すべて「掲示板」を通じておこないます。

登校したら、必ず、掲示板を見る習慣をつけて下さい。

掲示板を見落としたために生じる不都合は、すべて諸君自身に帰することになりますので注意して下さい。

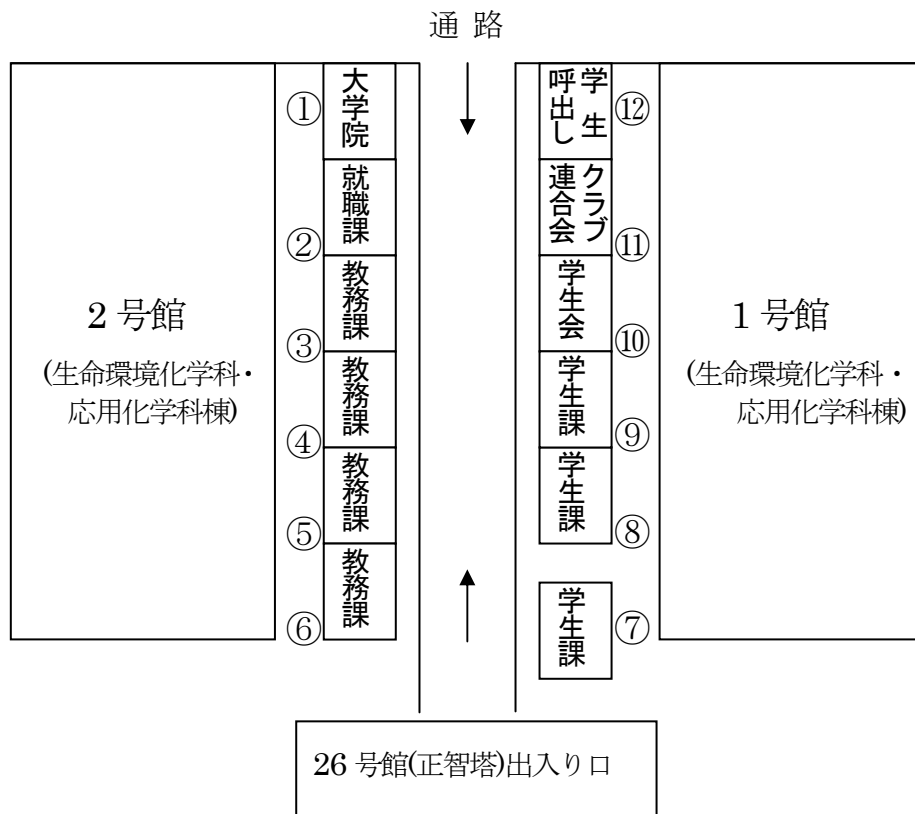
学生からの電話による問合せには応じられませんので、必要に応じて事務局（教務課・学生課）の窓口に来て下さい。

緊急かつ止むを得ない場合は、下記の連絡先を利用して下さい。

学生課（直通）048(585)6812

教務課（直通）048(585)6813

学生と直接関係のある学生課、教務課及び就職課の掲示場所（概略図）は、以下の通りです。



#### 【主な掲示物】

- ① 大学院生
- ② 就職課 [就職情報 ガイダンス・セミナー]
- ③～⑥ 教務課 [試験日程 進級卒業発表 授業の休講 時間割変更]
- ⑦～⑨ 学生課 [各種奨学金の手続き 健康診断日程 行事日程]

- ⑩ 学 生 会 [学生会行事]
- ⑪ クラブ連合会 [勧誘ポスター・クラブ連合会行事]
- ⑫ 学生呼出し [工学部学生課・工学部教務課・就職課]